

ヘッドライトで歩行者が、「蒸発」 夜間運転の危険性

2015年9月26日(土)

夜間の交通事故を防ごうと、京都府で車両の死角や蒸発現象などを体験して学ぶ交通教室を開いた。自動車や自転車を使って実験。黒い服よりも白い服に反射材を身につけている方が目立つこと、ライトをつけた車同士がすれ違う時に間に立つ歩行者が見えなくなる「蒸発現象」などを、実際に体験して学んだ。実験中は雨が降っていたため、さらに視界が悪くなり、「ほんまに分かりにくいな」「気をつけんとあかん」と口にする参加者が多かった。巡查長は「暗い中では歩行者も自転車も『自分がかここにいる』とアピールする必要があります。車の運転手もハイビーム(遠目ライト)にしたり、『もしかしたら歩行者がいるかもしれない』と注意したりして、運転するように心がけてください」と呼びかけた。

雨の日 積み下ろし作業足元に注意

雨の日 交通事故は晴天時の5倍 スピードに気をつけよう！

ドライバーは、“こまめに休憩！” “重大事故”が発生してからでは、“遅い”

2時間ごとに、15分休憩！

ほんの少しの脇見でもその間に車は動いてる

路側帯に停車してる車両(バス・タクシー・子供の送り迎えの車)から渡って来るかもしれない・・・、飛び出して来るかもしれない

デイ・ライトで、歩行者に「車の存在を知らせる」

大型スーパー付近、高齢歩行者の“危険横断”に注意！

“1人で作業” 荷台からの“転落”、“はさまれ”注意

バック時は 降りて確認 乗っても確認

追突、玉突き事故を防ぐ 交差点手前で止まる時は、車1台分のスペースを空けて止まる

“右から” 横断中の86歳女性はねられ死亡 信号機や横断歩道のない交差点

(2015年09月25日)

24日午後7時20分ごろ、富山県の信号機や横断歩道のない交差点で、道路を歩いて渡っていた近くに住む、無職の女性(86)が左からきた乗用車にはねられました。女性は病院に運ばれましたが、首の骨を折り、およそ1時間半後に死亡しました。警察では乗用車を運転していた40歳の男性から話を聞くなど原因調査。

午前6時 自転車で通学途中の中2女子生徒、はねられ死亡

2015. 9. 25

25日午前6時ごろ、茨城県の交差点で、軽乗用車が自転車で横断しようとした、中学2年の女生徒(14)をはねた。女生徒は頭を強く打ち、病院で死亡が確認された。警察は、自動車運転処罰法違反(過失傷害)の疑いで、軽乗用車の、代行運転手の男性容疑者(27)を現行犯逮捕。現場には信号や自転車の横断帯があった。女生徒は通学途中だった。

午前4時 自転車の男性が、軽乗用車にはねられ、死亡 「直前に気付いたがよけられなかった」

2015年9月24日(木)

24日午前4時前、新潟県の一方通行の市道で男性が軽乗用車にはねられ、死亡しました。警察によりますと、死亡したのは公務員の男性(45)で、近くには男性の自転車が倒れていました。軽乗用車の運転手は、「直前に気付いたがよけられなかった」と話していて、警察が事故の原因を調べています。

雨降り 道路横断中の女性が死亡

[2015/9/25]

25日午前2時ごろ、福島県で、38歳の男性が運転する乗用車が道路を横断していた女性をはねた。この事故で、近くに住む無職の女性59歳が頭などを強く打ち、間もなく死亡した。現場は見通しの良い直線道路で、事故当時は雨が降っていた。

“シカをよけて”衝突 男性死亡

2015年9月22日(火)

21日午後11時50分ごろ、兵庫県で、会社役員男性(68)の乗用車が、対向の軽乗用車に衝突、男性の車の後部座席に乗っていた長男(22)が頭を打って死亡した。男性が鼻を折るなどし、軽乗用車の70歳ぐらいの男性は首をねんざするなどした。警察によると、男性の乗用車がシカをよけようとしたという。